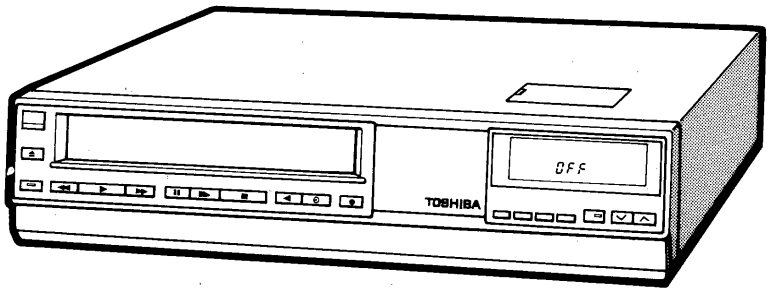
TOSHIBA

東芝タイムラプスビデオ

取扱説明書

形名 KV-6100



このたびは東芝タイムラプスビデオ・KV-6100をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのビデオを正しく使っていただくために、お使いになるまえにこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは必ず保存してください。

保証書別添

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、販売店よりお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買いあげの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

- このビデオには、VHS マークのついたビデオテープ以外は使用できません。
- あなたが、ビデオ(テープレコーダ)で録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 万一本機およびビデオカセットテープの不具合により、正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

●日常点検のお願い

このビデオは長期間の使用に耐えるよう設計されておりますが、毎日の運転の始めに前日の記録部分を数カウント巻戻しを行ない、再生画像に異常のないことを確認してから操作してください。

特　長

本機は産業用、文教用を対象に開発されたタイムラプスビデオです。通常の２時間、６時間録画モードのほかに、間欠録画によって、12、24、48、72、120、216、360時間の録画が可能な上、長時間の録画内容を短時間に再生することもでき、銀行・ビル・交通・駐車場の監視、科学実験、動物、植物や気象の観察などに威力を発揮します。

●最長360時間の長時間録画可能
録画時間はT-120テープを使用することにより、12、24、48、72、120、216、360時間のタイムラプスモードのほかに、ＶＨＳ方式の標準モード、３倍モードの録画・再生ができ、使用目的にあった設定ができます。

●クリーンスロー・クリーンスチル
ＶＸ4ヘッドの採用により、タイムラプスモードのクリーンスロー再生とノイズやブレのないクリーンスチルの画像が得られ、録画内容の解明に便利です。

●タイムデートジェネレーター内蔵
監視・観察などに欠かせないタイムデートジェネレーターを内蔵。年、月、日、曜日、時、分、秒、録画モード、アラーム入力時刻の表示を画面上にスーパーインポーズすることができます。表示場所は、画面の上下右左に動かすことができます。

●１コマ録画可能
録画中、一時停止ボタンを押し、コマ送りボタンを押すと、押すごとに１フレームずつ録画ができます。

●アラーム録画機能
異常時のアラーム信号により、自動的に２時間モードに切換えるアラーム録画機能を内蔵。アラーム録画による録画時間は、３分、６分、テープ終端までの中から選択することができます。

●アラームメモリー機能
アラーム録画部分を探し出すのに便利なアラームメモリー機能を搭載。早送りや巻戻し中、アラーム録画開始点で自動的に静止画再生になります。

●オートリピート録画可能
テープ終端で自動的に巻戻し、テープ始端から再び録画をくり返すオートリピート録画ができます。

●録画モードロック機能・停電復帰録画可能
監視・観察など長時間連続運転の動作を確実に行わせる録画モードロック機能。また、停電復帰後自動的に録画モードになる停電復帰録画機能付です。

●タイマー録画可能
録画モード指定、および、毎日、月曜から金曜、土曜、日曜の曜日選択の可能な４プログラムのタイマー録画機能を内蔵しています。

●電源スイッチ連動コンセント付
電源スイッチやタイマーの入／切に連動した電源コンセントが付いています。（最大400W）

●多機能録画方式
監視・観察などの幅広い用途に合わせて、タイマー録画、オートリピート録画、アラーム録画、停電復帰録画などの録画方式が選択できます。

●多彩な再生機能
早送り再生と巻戻し再生、逆再生、コマ送り再生、静止画再生などの多彩な再生方式により、録画内容を迅速に検索できます。

●電子ブザー
テープエンド時、アラーム録画開始時、結露時、受付不能ボタンを押したときに電子ブザーが鳴ります。

●停電補償
万一、停電が発生した場合、約７日以内であれば、タイムデートジェネレーターの日付、時刻、タイマー予約はメモリーされています。

●家庭用テレビでの監視モニター
ＲＦコンバーターとアンテナ入出力端子が付いていますので、ビデオカメラ(別売品)を接続することにより、家庭用テレビでも監視モニターとして使用できます。

●モード表示
動作モードなどを表示する多機能ディスプレイ採用。

●5000時間のアワーメーターを装備。

●音声アフレコ機能。

●カウンターメモリー機能。

●アラームリコール機能。

●ワイヤードリモコン付属。

目 次

各部のなまえと働き……3
接続のしかた……9
- モニターテレビとビデオカメラとの接続例……9
- 一般家庭用テレビとビデオカメラ1台との接続例……9
- VP多重カメラシステムとの接続例……10

タイムデートジェネレーター……11
- 現在時刻の合わせかた……13
- タイマー予約のしかた……14

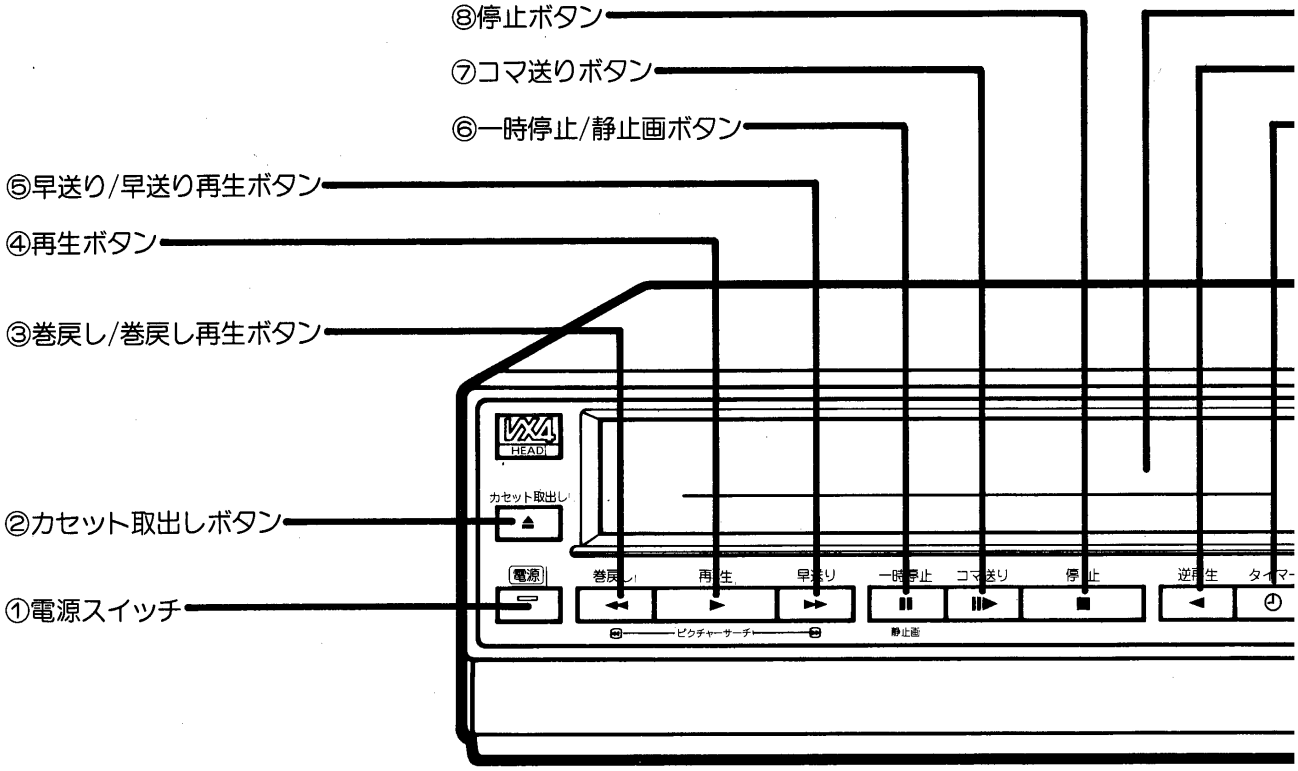
ビデオカセットの入れかた、取出しかた……15
時間モードの選びかた……16
録画のしかた……17
- いろいろな録画のしかた……18
- アラーム録画……19

再生のしかた……20
- いろいろな再生のしかた……21
- よりよい再生のしかた……22

いろいろな使いかた……23
日常点検のお願い……24
使用上のご注意……25
ちょっとお調べください……27
保証と修理サービスについて……28
仕様……裏表紙

各部のなまえと働き

〔前面〕



①電源スイッチ
電源の「入」「切」を行ないます。電源切時、モード表示部に「OFF」表示が出ます。録画ロックモード時、アラーム録画のときは、電源スイッチは動作しません。

②カセット取出しボタン
ビデオテープを取り出すとき押します。

③巻戻し/巻戻し再生ボタン
テープの巻戻しをするとき押します。再生中に押すと5倍の巻戻し再生になります。3倍モードで録画したテープでは、このボタンを押しつづけると15倍の巻戻し再生になります。巻戻し再生を解除するときは、再生ボタンを押します。

④再生ボタン
テープを再生するときに押します。

⑤早送り/早送り再生ボタン
テープの早送りをするとき押します。再生中に押すと5倍の早送り再生になります。3倍モードで録画したテープでは、このボタンを押しつづけると15倍の早送り再生になります。早送り再生を解除するときは、再生ボタンを押します。

⑥一時停止/静止画ボタン
録画中にこのボタンを押すと一時停止に、再生中に押すと静止画再生になります。

⑦コマ送りボタン
静止画再生中にこのボタンを押すと、1コマ送り再生ができます。録画中、一時停止ボタンを押し、このボタンを押すと押すごとに1コマ録画ができます。

⑧停止ボタン
テープ走行を止め停止状態にするとき押します。

⑨カセット挿入口
ビデオテープを入れると、モード表示部のテープ表示が点灯します。

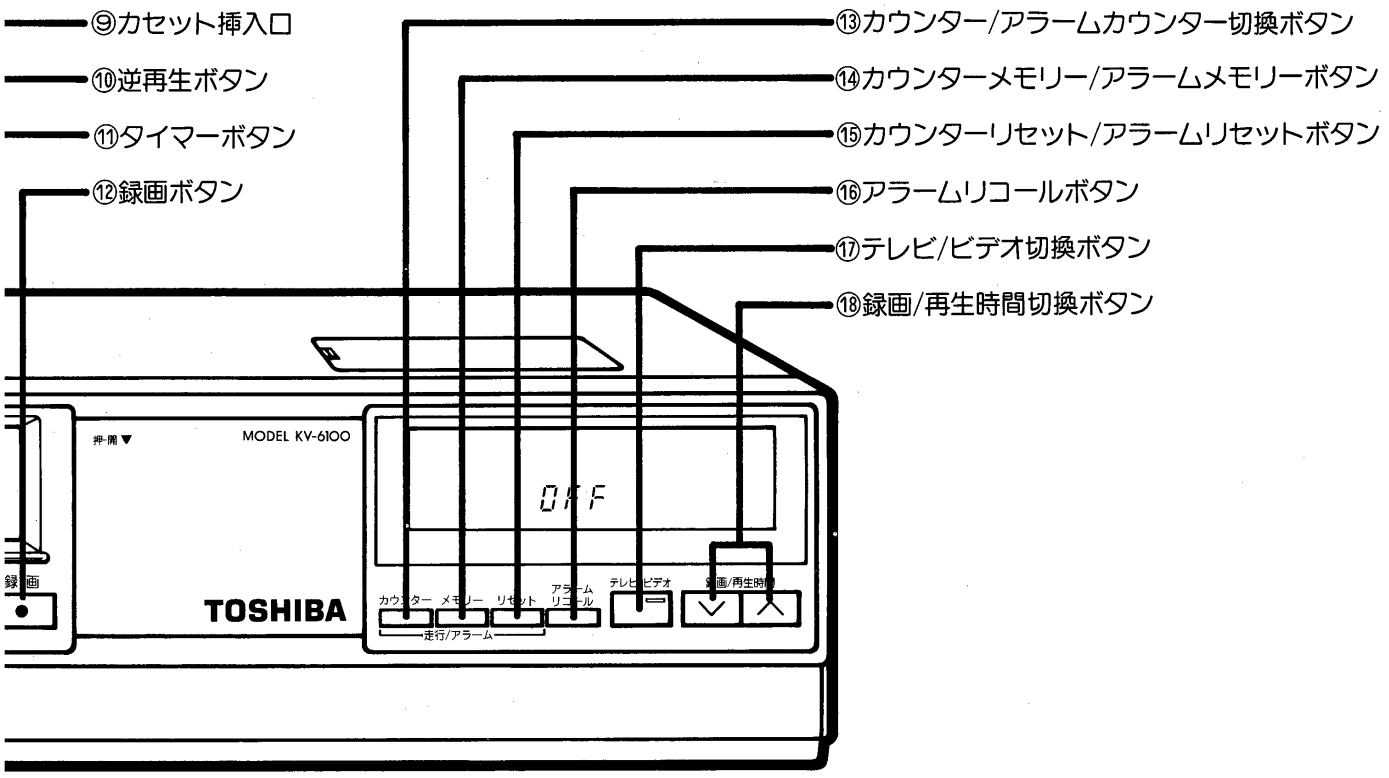
⑩逆再生ボタン
再生中にこのボタンを押すと、逆方向の再生ができます。

⑪タイマーボタン
タイマー録画をするときこのボタンを押します。

⑫録画ボタン
このボタンを押すと録画が始まります。

⑬カウンター/アラームカウンター切換ボタン
このボタンを押すと、テープカウンターかアラームカウンターのどちらかを選ぶことができます。

⑭カウンターメモリー/アラームメモリー切換ボタン
このボタンを一回押すと、モード表示部にカウンターメモリー、もう一度押すとアラームメモリーの表示が出ます。もう一度押すと表示が消えます。カウンターメモリー表示が点灯のときにテープの早送りや巻戻しをすると、カウンターが「0000」付近にな



ったところでテープが自動的に止まります。アラームメモリー表示が点灯のときにテープの早送りや巻戻しをするとアラーム信号が記録されているところへ来ると静止画再生になります。

⑮カウンターリセット/アラームリセットボタン

テープカウンター表示のとき、このボタンを押すとテープカウンターがリセットされ「0000」になります。アラームカウンター表示のとき、このボタンを押すとアラームカウンターがリセットされ「A−00」になります。

⑯アラームリコールボタン

停止状態のときにこのボタンを押すと、テレビ画面にアラーム録画された最も新しいアラーム情報(年、月、日、曜日、時間)を最初に表示し、3秒間隔で新しいアラーム情報から順にAL1〜AL9の情報を自動的に表示し、AL9の表示が終わると解除されます。アラーム情報を戻したいときは設定ボタン(−)、を押すと戻ります。(+)を押すと進みます。

⑰テレビ/ビデオ切換ボタン

一般家庭用テレビをモニターとして使うときに切り換えます。

ビデオ：再生画像またはビデオカメラ信号を見るとき。
電源を入れると自動的にビデオになります。

テレビ：テレビ番組を見るとき。
電源を切ると自動的にテレビになります。
テレビの位置になっていても時刻合わせ、タイマー予約、予約確認、アラームリコール、アラーム録画、タイマー録画モードのときは自動的にビデオになります。

⑱録画/再生時間切換ボタン

タイムラプスモードを選択するボタンです。
モード表示部に表示された数値は、T-120テープ使用時の録画／再生可能時間を表します。また、“2時間”の場合、VHS規格の標準モードとなり、“6時間”の場合、VHS規格の3倍モードとなります。

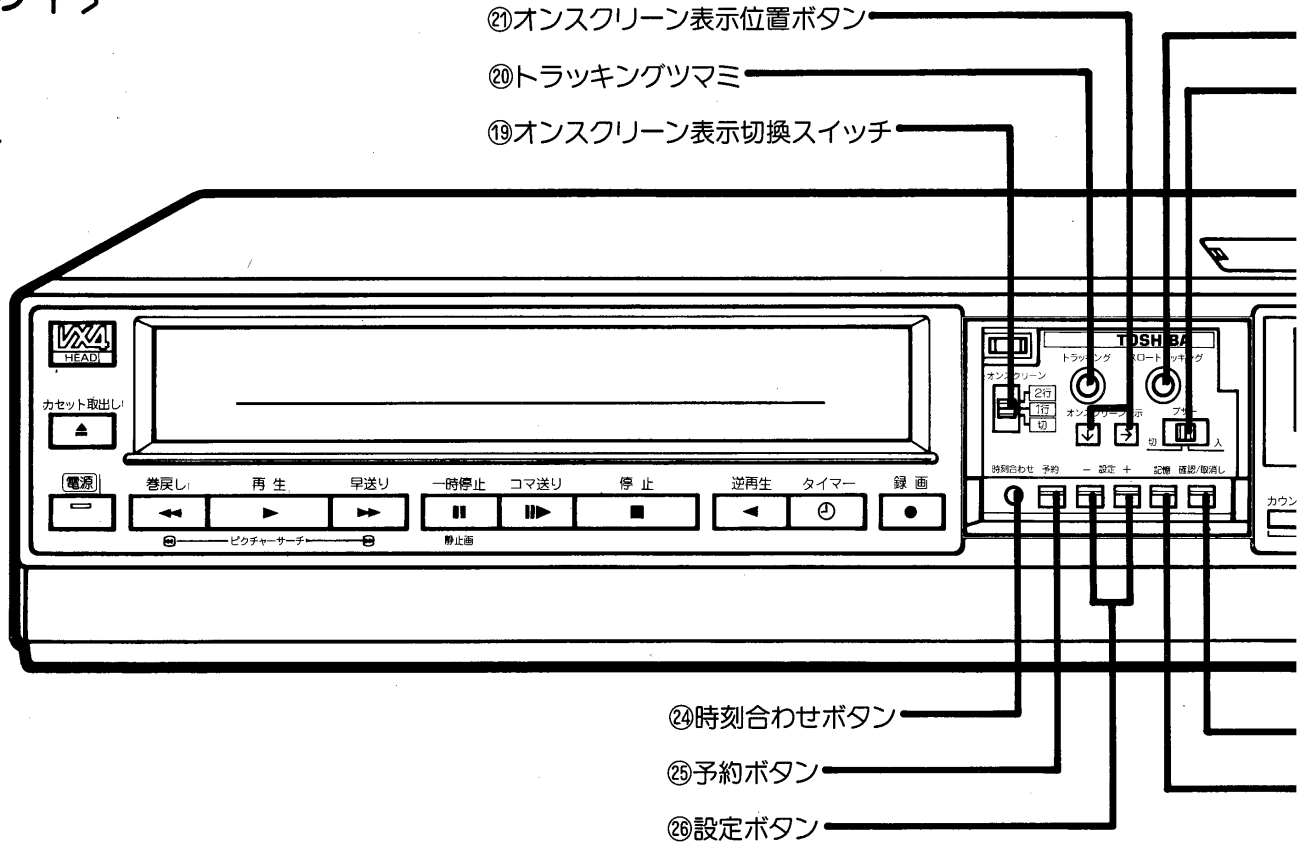
録画の場合

[∧]ボタンを押すと、時間が2→6→12→24→48→72→120→216→360→2の順に変ります。
[∨]ボタンを押すと[∧]ボタンと逆方向に時間が変ります。

再生の場合

標準モードで録画されている場合：[∧]ボタンを押すと、2→12→24→48→72→120→2の順に変ります。
3倍モードで録画されている場合：[∧]ボタンを押すと、6→36→72→144→216→360→6の順に変ります。
[∨]ボタンを押すと[∧]ボタンと逆方向に時間が変ります。録画時の時間と、再生時の時間はそれぞれのデーターを保持していますので、たとえば、録画時に120時間になっていても、再生時は、その前に再生した時間たとえば、72時間の表示になります。

〔扉の中〕



⑲オンスクリーン表示切換スイッチ

録画する画面にインサートするタイムデートジェネレーターの表示を選択するスイッチです。

切　：インサート表示なし
　　但し、アラーム録画時は「切」時でも、自動的に画面にアラーム情報をインサートします。

1行：時、分、秒、録画時間を1行で表示します。

2行：時、分、秒、録画時間と年、月、日、曜日を2行で表示します。

⑳トラッキングツマミ

“2時間”モードや“6時間”モードで再生中にノイズバーが現われるとき、このツマミで調整します。

㉑オンスクリーン表示位置

挿入するタイムデート表示の位置を設定するための移動用ボタンです。↓ボタンを押すと下に、→ボタンを押すと左に表示が移動します。

㉒スロートラッキングツマミ

タイムラプスのモードで再生中にノイズバーが現われたとき、このツマミで調整します。

㉓ブザースイッチ

「入」にすると、テープエンド時、アラーム録画開始時、結露時、受付不能ボタンを押したときにブザーが鳴ります。ブザー音は各モードによって鳴りかたがちがいます。

テープエンド、結露時：ピピピピ…の連続音
テープエンド時は操作ボタンを押すと止まります。
結露時はこのスイッチを切りにするか電源を切ると止まります。
アラーム録画開始時、ツメ折れテープの録画時、タイマーボタンを押したとき：ピピピピを4回繰り返す。
受付不能ボタン入力時：ピーを1回

㉔時刻合わせボタン

時刻合わせをするときこのボタンを押して、設定ボタンと記憶ボタンで時刻を合わせます。

㉕予約ボタン

タイマー予約をするときこのボタンを押して、設定ボタンと記憶ボタンで予約します。

㉖設定ボタン

時刻合わせ、タイマー予約のときこのボタンで設定します。押すと表示が変ります。記憶ボタンを押して変更するところを点滅させてから使います。押しつづけると連続的に変わります。

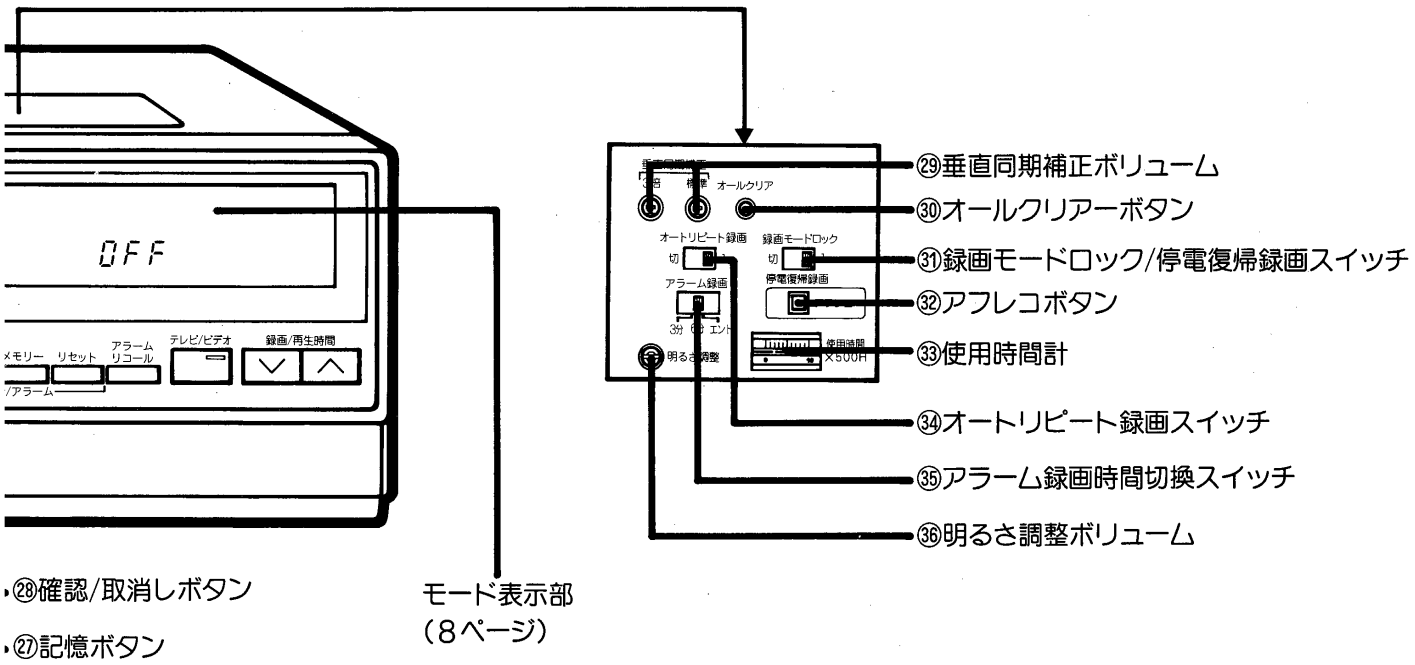
㉗記憶ボタン

このボタンは設定ボタンで合わせた表示を記憶させます。
このボタンを押すと次に合わせる所に移り点滅します。

〔上面扉の中〕

・㉒スロートラッキングツマミ

・㉓ブザースイッチ



・㉘確認/取消しボタン

・㉗記憶ボタン

モード表示部
（8ページ）

㉘確認/取消しボタン
停止状態のとき、このボタンを押すとタイマー予約の予約内容がテレビ画面に表示されます。タイマー予約時にこのボタンを押すと表示プログラムの取消しができます。

〔上面扉部〕

㉙垂直同期補正ボリューム
タイムラプスモード再生や静止画再生のとき画像が上下にゆれるときにこのボリュームで調整します。
標準：標準モードで録画したテープを再生時
3倍：3倍モードで録画したテープを再生時

㉚オールクリアーボタン
タイムデートジェネレーターおよびタイマーのすべてのデーターをクリアーにするとき押します。電源も切れます。

㉛録画モードロック/停電復帰録画スイッチ
このスイッチを「入」にすると、録画モード中、操作ボタンや各スイッチの操作や変更ができません。操作するときは切にして操作します。また、このスイッチが入りのとき停電復帰後、ビデオは自動的に録画状態になります。

㉜アフレコボタン
録画ずみのテープにあとから別の音を録音するとき、このボタンを押します。

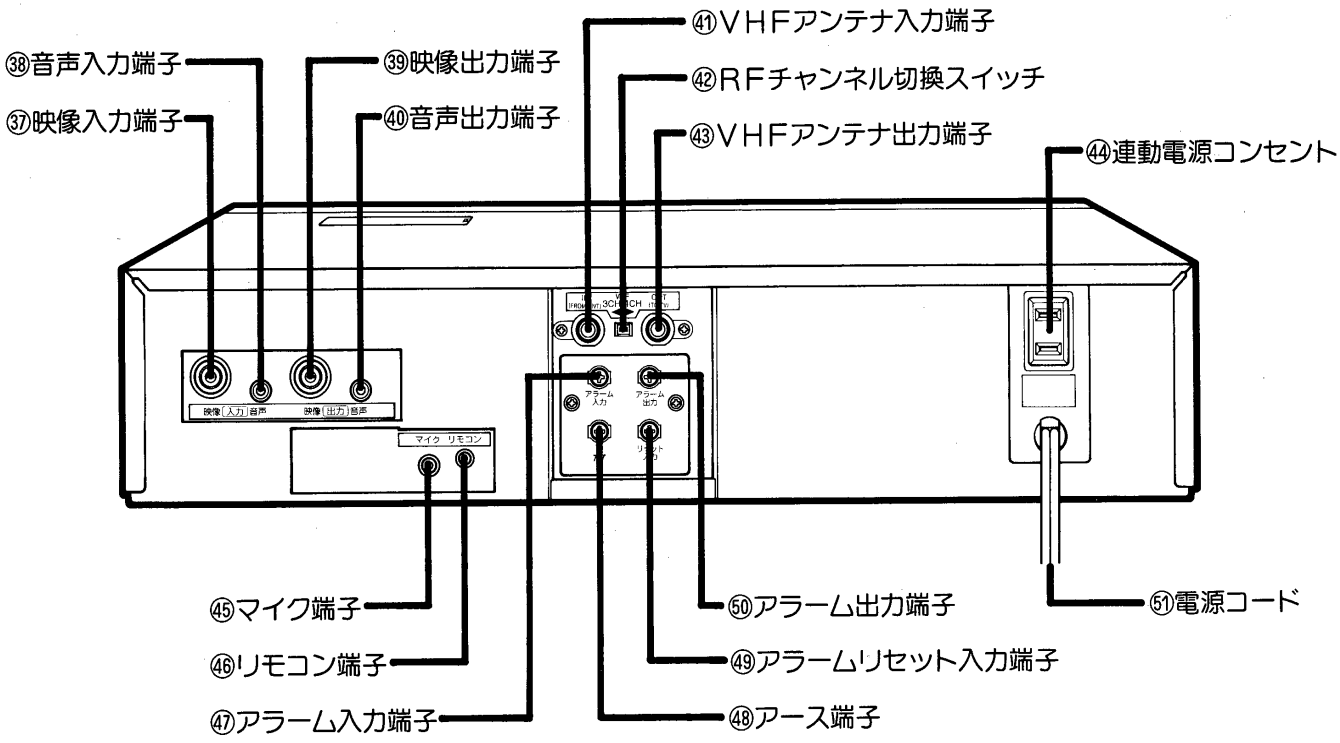
㉝使用時間計
本機の使用時間を表示します。1目盛500時間で最大5000時間まで表示します。
（ビデオのメンテナンスの目安にご使用ください）

㉞オートリピート録画スイッチ
スイッチを「入」にすると、テープ始端と終端の間を自動的にくり返し録画します。

㉟アラーム録画時間切換スイッチ
アラーム録画の時間を3分：6分：エンドの中から選択することができます。

㊱明るさ調整ボリューム
挿入するタイムデート表示の背景の明るさを調整します。

〔背面〕



㊲映像入力端子
BNCコネクタの映像入力端子です。
カメラなどのビデオ信号を入力します。

㊳音声入力端子
音声信号を入力します。

㊴映像出力端子
BNCコネクタの映像出力端子です。
モニターテレビへ接続します。

㊵音声出力端子
録音中または再生中の音声信号が出力されます。

㊶VHFアンテナ入力端子
VHFアンテナ線を接続します。

㊷RFチャンネル切換スイッチ
一般家庭用テレビを使うとき、ご使用になる地域の空チャンネルに合わせてチャンネル1（CH1）かチャンネル2（CH2）に切り換えます。

㊸VHFアンテナ出力端子
テレビのVHFアンテナ端子へ接続します。

㊹連動電源コンセント
消費電力最大400Wまでの機器がつなげます。
電源スイッチやタイマーの入／切で接続機器の電源も入／切できます。

㊺マイク端子
この端子にマイクプラグを接続すると、音声入力端子よりマイクが優先となります。

㊻リモコン端子
付属のリモコンを接続します。

㊼アラーム入力端子
アラーム録画を開始させるための信号入力端子です。
録画中にアース端子㊽と短絡すると、アラーム録画モードになります。

㊽アース端子
アラーム入力とアラーム出力のアース端子です。

㊾アラームリセット入力端子
アラーム録画を解除するための信号入力端子です。
アラーム録画中、アラーム出力端子㊿と短絡すると、アラーム録画が解除されます。

㊿アラーム出力端子
アラーム信号を外部に伝えるための出力端子です。
アラーム録画中、約DC5Vの電圧が出力されます。

(51)電源コード
AC100Vコンセントに接続します。

〔モード表示部〕

カウンターメモリー表示
カウンターメモリーを働かせるときこの表示を点灯させます。

アフレコ表示
アフレコボタンを押すと点灯します。

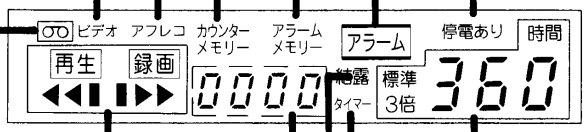
アラームメモリー表示
アラームメモリーを働かせるときこの表示を点灯させます。

ビデオ表示
電源を入れると点灯します。
テレビ／ビデオ切換ボタンを押すと消えます。

アラーム表示
録画中アラーム入力があると点灯します。

停電あり表示
停電が有ったとき点灯します。

カセット表示
テープを入れると表示します。



走行表示
操作モードにより下記のように表示されます。

再生時			再生時以外		
再　生……	再生	▶	録　画……	録画	▶
静止画……	再生	II	一時停止……	録画	II
スロー……	再生	I▶	タイムラプス…	録画	I▶
コマ送り…	再生	II▶	1コマ録画……	録画	II▶
逆再生……	再生	◀	アフレコ……アフレコ		▶
早送り再生·	再生	▶▶	早送り		▶▶
巻戻し再生·	再生	◀◀	巻戻し		◀◀
			ビデオヘッド目づまり時	録画	が点滅

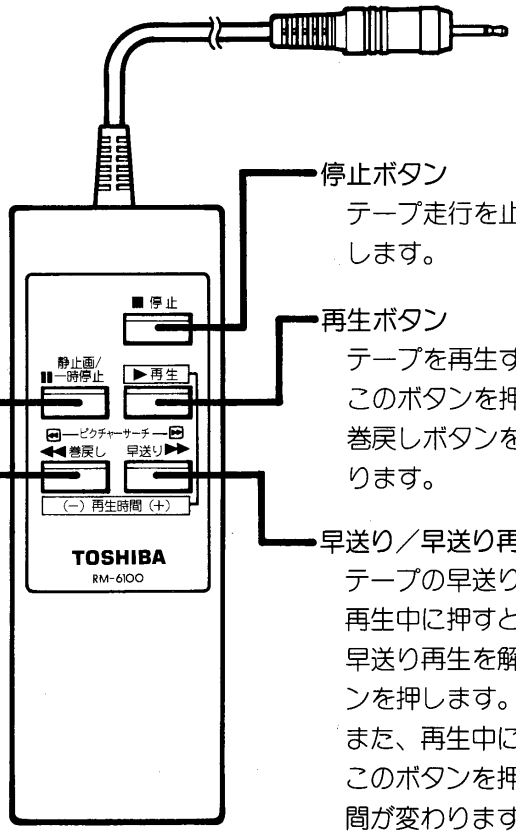
録画／再生時間表示
録画／再生時間モードを表示します。

タイマー表示
タイマーボタンを押すと点灯します。

結露表示
ビデオ内部に結露が発生すると点滅します。

カウンター／アラームカウンター表示
カウンター／アラームカウンター切換ボタンにより、カウンター表示かアラームカウンター表示が表示されます。

〔ワイヤードリモコン〕



一時停止／静止画ボタン
録画中にこのボタンを押すと録画一時停止に、再生中に押すと静止画再生になります。

巻戻し／巻戻し再生ボタン
テープの巻戻しをするとき押します。
再生中に押すと巻戻し再生になります。
巻戻し再生を解除するときは、再生ボタンを押します。
また、再生中に再生ボタンを押しながらこのボタンを押すと（−）方向に再生時間が変わります。

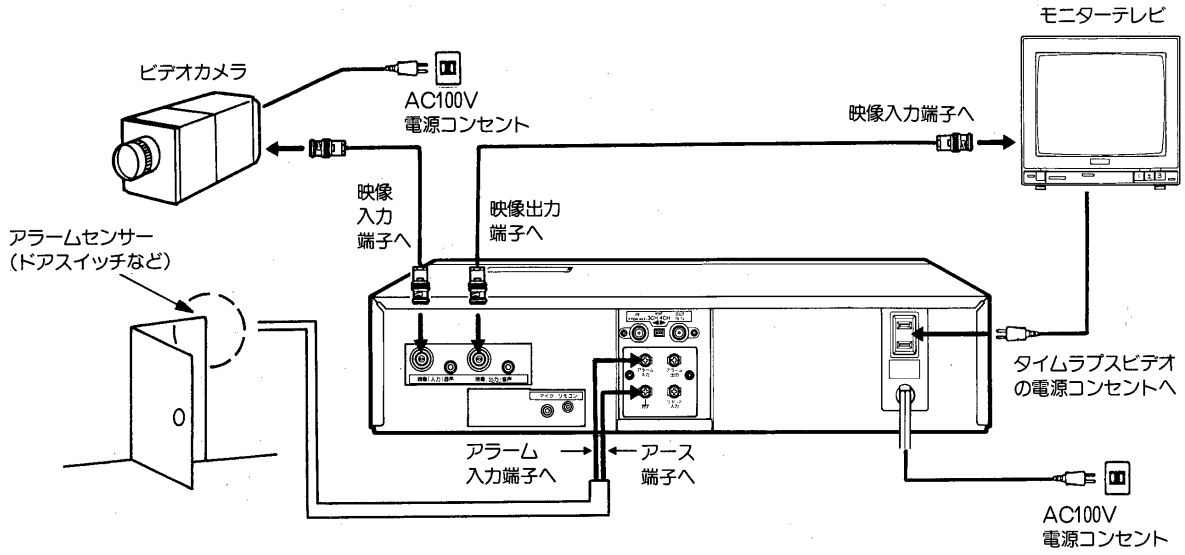
停止ボタン
テープ走行を止め停止状態にするとき押します。

再生ボタン
テープを再生するときに押します。
このボタンを押しながら、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、再生時間が変わります。

早送り／早送り再生ボタン
テープの早送りをするとき押します。
再生中に押すと早送り再生になります。
早送り再生を解除するときは、再生ボタンを押します。
また、再生中に再生ボタンを押しながらこのボタンを押すと（＋）方向に再生時間が変わります。

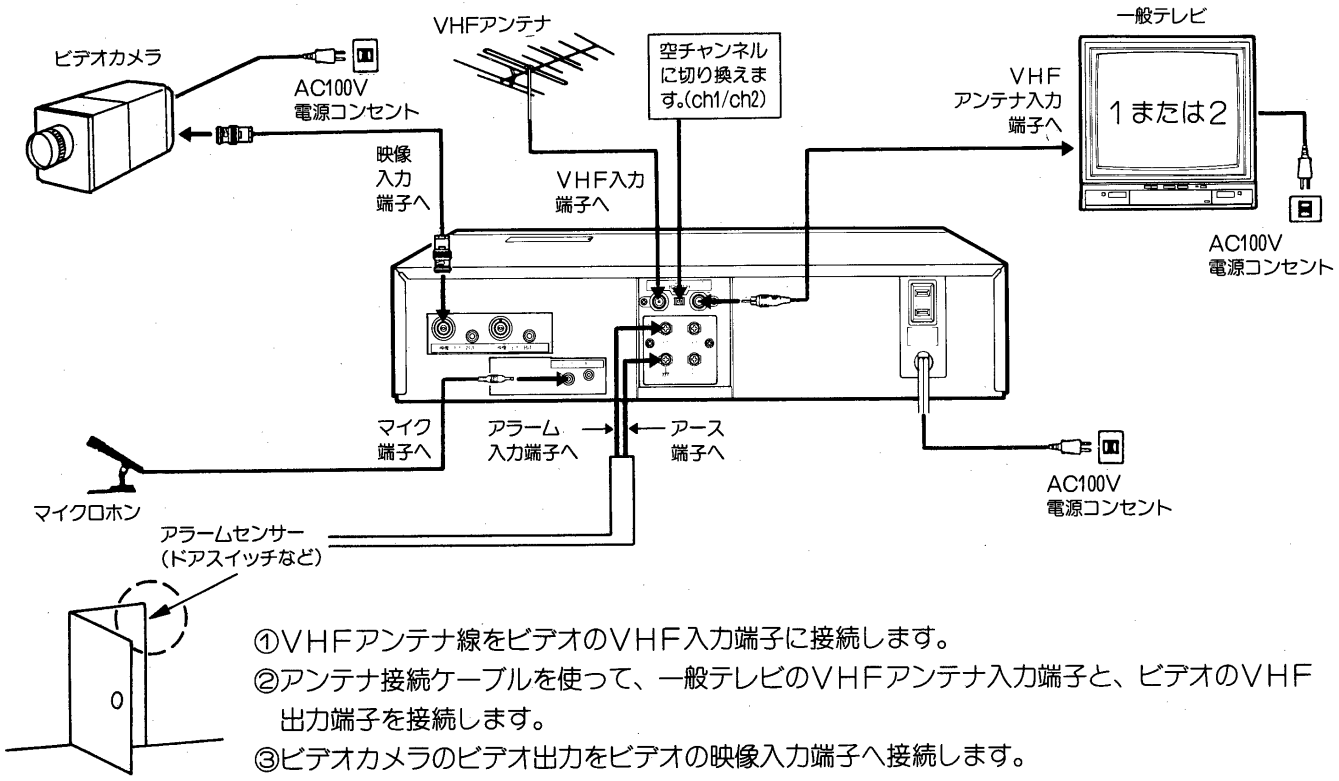
接続のしかた

●モニターテレビとビデオカメラ１台との接続例



①モニターテレビの映像入力端子とビデオの映像出力端子を付属のケーブルで接続します。
②ビデオカメラのビデオ出力をビデオの映像入力端子へ接続します。
③アラームセンサーを接続する場合はビデオのアラーム入力端子とアース端子へ接続します。
④モニターテレビの電源コードをビデオの電源コンセントに接続します。
　ビデオの電源スイッチにより、モニターテレビの電源を入／切できます。
⑤接続が終了したらビデオの電源コードをAC100Vの電源コンセントに接続します。

●一般家庭用テレビとビデオカメラ１台との接続例

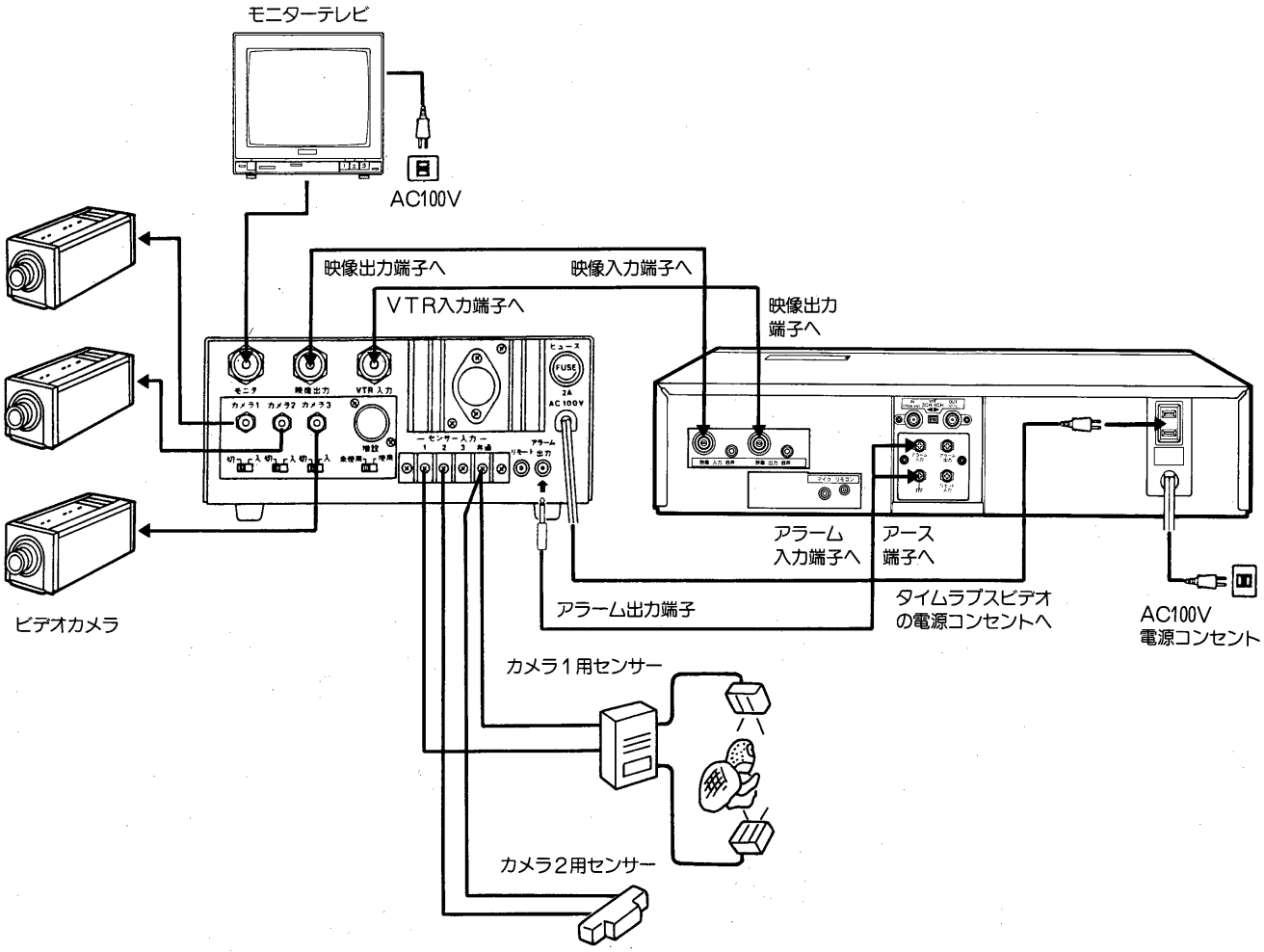


①VHFアンテナ線をビデオのVHF入力端子に接続します。
②アンテナ接続ケーブルを使って、一般テレビのVHFアンテナ入力端子と、ビデオのVHF出力端子を接続します。
③ビデオカメラのビデオ出力をビデオの映像入力端子へ接続します。
④アラームセンサーを接続する場合はビデオのアラーム入力端子とアース端子へ接続します。
⑤マイクロホンを接続するときは、マイク端子へ接続します。
⑥接続が終了したらビデオの電源コードをAC100Vの電源コンセントに接続します。
⑦テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル（１または２）にします。
⑧ビデオのテレビ／ビデオ切換ボタンを“ビデオ”にします。

●VP多重カメラシステムとの接続例

●VP多重カメラシステム（東芝電材㈱扱い）の監視テレビカメラシステムとの接続により、ビデオカメラ1～6台の本格的監視・観察のシステムが組めます。

●VP多重カメラシステムとは、カメラの電源工事が不要で、固定監視はもちろん1～60秒間隔で自動切換できるシーケンシャルスイッチャー内蔵、必要な時に映像をとらえるスタンバイ機能付、防犯スイッチ、インターホンなどと連動できるセンサー入力端子付の監視テレビカメラシステムです。

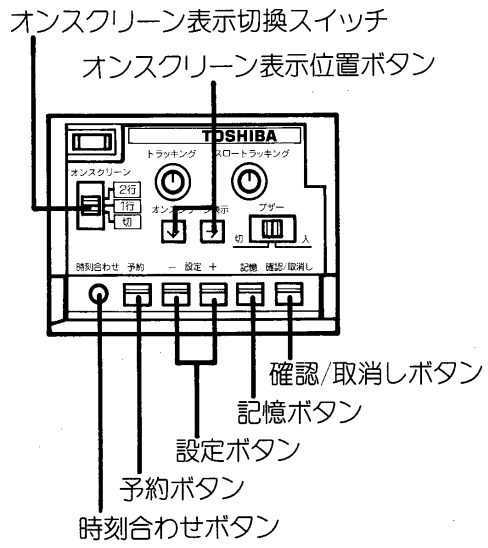


①自動映像切換器にビデオカメラおよびアラームセンサーを接続します。
②自動映像切換器のアラーム出力および映像出力、VTR入力をビデオに接続します。
③自動映像切換器のモニター出力をモニターテレビの映像入力へ接続します。
④自動映像切換器の電源コードをビデオの電源コンセントに接続します。
　ビデオの電源スイッチにより、自動映像切換器の電源を入／切できます。
⑤接続が終了したらビデオの電源コードをAC100Vの電源コンセントに接続します。

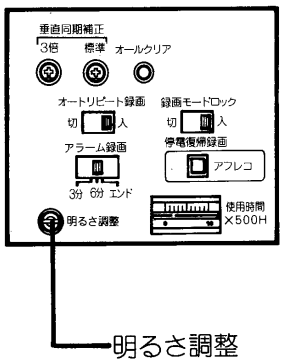
タイムデートジェネレーター

タイムデートジェネレーターの表示は映像入力端子に映像信号が入力されていないときは、テレビ画面に表示されません。時刻合わせ、タイマー予約は映像信号を入力してテレビ画面で合わせてください。

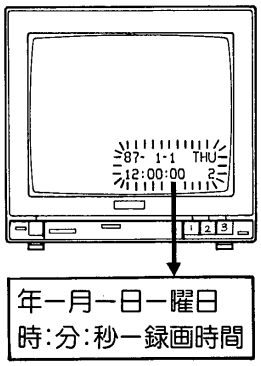
（前面扉の中）



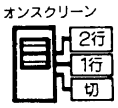
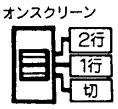
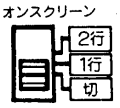
（上面扉の中）



電源プラグを電源コンセントに差し込んだとき、下記の表示が点滅しています。



＊西暦年の表示になっています。
＊時刻は24時間表示になっています。

操作部	操作のしかた	はたらき
オンスクリーン表示切換スイッチ	2行の位置に合わせる 	テレビ画面に2行で下記のように表示されます。 87- 1- 1 THU 12:00:00 2
	1行の位置に合わせる 	テレビ画面に下1行が表示されます。 ただし、アラーム録画時はこの位置でも2行表示します。 12:00:00 2
	切の位置に合わせる 	表示がでません。 ただし、アラーム録画時または時刻合わせやタイマー予約のときはこの位置でも2行表示が自動的に表示されます。
オンスクリーン表示位置ボタン	↓ ボタン → ボタン	テレビに映っている表示の位置を変えるときに押します。 ボタンの矢印の方向へ移動します。 2行表示のときだけ動作します。
明るさ調整ボリューム	右にまわせば明るく、左にまわせば暗くなります。 小さなマイナスドライバーを使って調整してください。	テレビに映っている表示文字の背景の明るさを見やすいように調整します。

操作部	操作のしかた	はたらき
時刻合わせボタン	時刻を合わせるとき押します。	このボタンを押すと、テレビ画面の年が点滅します。設定ボタンと記憶ボタンでカレンダーと時刻を合わせていきます。
予約ボタン	タイマー予約をするとき押します。	このボタンを押すと、テレビ画面がカレンダー表示から予約画面に変わります。 設定ボタンと記憶ボタンで録画曜日と開始、終了時刻を合わせます。
設定－ボタン	表示を合わせるとき押します。	このボタンを押すと、表示が逆方向に進みます。押し続けると連続的に変わります。
設定＋ボタン	表示を合わせるとき押します。	このボタンを押すと、表示が進みます。 押し続けると連続的に変わります。
記憶ボタン	合わせた表示をメモリーするとき押します。	このボタンを押すと、表示されている数字が記憶されます。記憶されると次に合わせる所に移り点滅します。
確認／取消しボタン	タイマー予約の確認 本機を停止状態にして、このボタンを押します。	このボタンを押すと、テレビ画面にDAYから順にプログラムの内容が自動的に表示されSUNの内容を表示したあとカレンダー表示になります。
	タイマー予約の取消し 予約ボタンを押し予約モードの表示にして、このボタンを押します。	設定ボタンで取消したいプログラムを表示して、このボタンを押すと予約内容が取り消されます。

● 現在時刻の合わせかた

たとえば、1987年2月24日（火曜）17時35分に合わせる場合

1.「時刻合わせ」ボタンを押す

時刻合わせ	テレビの表示
○	-87- 1- 1 THU 12:00:00 SET

2.「設定」ボタンを押し年を合わせる

− 設定 ＋	テレビの表示
▭ ▭	-87- 1- 1 THU 12:00:00 SET

＋ボタンを押すと

→87→88→……99→01→02→…86→

−ボタンを押すと逆方向に変わります。

3.「記憶」ボタンを押す

記憶	テレビの表示
▭	87- -1- 1 THU 12:00:00 SET

4.「設定」ボタンを押し月を合わせる

− 設定 ＋	テレビの表示
▭ ▭	87- -2- 1 THU 12:00:00 SET

5.「記憶」ボタンを押す

記憶	テレビの表示
▭	87- 2- -1- THU 12:00:00 SET

6.「設定」ボタンを押し日を合わせる

− 設定 ＋	テレビの表示
▭ ▭	87- 2-24-THU 12:00:00 SET

大の月、小の月は自動判定します。
うるう年も自動判定します。

7.「記憶」ボタンを押す

記憶	テレビの表示
▭	87- 2-24-THU- 12:00:00 SET

8.「設定」ボタンを押し曜日を合わせる

− 設定 ＋	テレビの表示
▭ ▭	87- 2-24-TUE- 12:00:00 SET

＋ボタンを押すと

→SUN→MON→TUE→WED→THU→FRI→SAT→
日　月　火　水　木　金　土

−ボタンを押すと逆方向に変わります。

9.「記憶」ボタンを押す

記憶	テレビの表示
▭	87- 2-24 TUE -12-:00:00 SET

10. 同様に設定ボタンと記憶ボタンを使って時、分を合わせます。秒の設定はできません。

設定ボタンは＋を押すと数字が進みます。
−を押すと数字が逆方向に進みます。
記憶ボタンは押すと点滅の表示が次に移ります。

11. テレビの表示は次のようになります。

-87- 2-24 TUE 17:35:00 SET

12. 時報などと同時に「時刻合わせ」ボタンを押す

時刻合わせ	テレビの表示
○	87- 2-24 TUE 17:35:01 2

0秒スタートします。

●タイマー予約のしかた

予約をする前に現在時刻が正確ですか？……調整するときは前ページを参考に調整してください。
例えば、月曜から金曜日まで18時30分から翌日の８時30分までを72時間モードで録画予約する場合

1.「予約」ボタンを押す

予約	テレビの表示
目	DAY -- : -- ON 120 -- : -- OF

2.「設定」ボタンを押し予約曜日を合わせる

− 設定 ＋	テレビの表示
目 目	M-F -- : -- ON 120 -- : -- OF

＋ボタンを押すと
→DAY→M-F→SAT→SUN→DAY

−ボタンを押すと逆方向に変わります。

DAY：毎日録画
M−F：月曜〜金曜録画
SAT：土曜日録画
SUN：日曜日録画

3.「記憶」ボタンを押す

記憶	テレビの表示
目	M-F -- : -- ON 120 -- : -- OF

4. 同様に設定ボタンと記憶ボタンを使って開始の時、分と終了の時、分を合わせます。

− 設定 ＋ 記憶	テレビの表示
目 目 目	M-F 18:30 ON 120 8:30 OF

5. 録画／再生時間切換ボタンで録画時間を合わせる録画時間設定はどこで行ってもできます。

録画/再生時間	テレビの表示
＜ ＞	M-F 18:30 ON 72 8:30 OF

6. 他の曜日に予約するときは「設定」ボタンを押し、2〜5の操作をする。

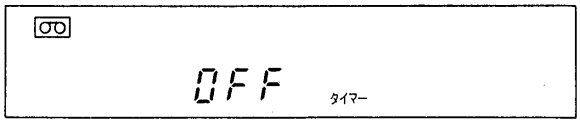
設定	テレビの表示
目	SAT -- : -- ON 120 -- : -- OF

7.「予約」ボタンを押すと現在時刻表示になります。

予約	テレビの表示
目	87- 2-24 TUE 17:53:12 120

8.「タイマー」ボタンを押します。

電源が切れてモード表示部に「タイマー」表示が点灯します。



予約の曜日、時間がくると録画が始まります。
予約の開始時間がすぎていると電源は切れずにすぐ録画が始まります。

−メモ

- 録画開始時刻と終了時刻の差は１分間以上あれば動作します。
- タイマー予約の設定は停止状態で行なってください。
- 日付、時刻表示は、多少、上下にゆれることがありますが異常ではありません。
- 時刻表示の精度は本機の使用状態、環境状態によって異なります。日常点検を行なって、正しい時刻に合わせてください。
- 西暦年の設定によりうるう年の対応が自動的に調整されています。

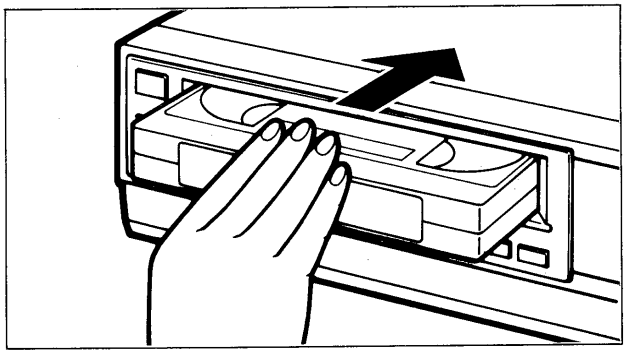
万一、停電が発生した場合

- 停電が有った場合モード表示部に「停電あり」の表示がでます。表示を消すときは、いずれかのボタンを押すと消えます。
- 停電していた時間が約７日以内であれば、日付、時刻、タイマー予約のデーターはメモリーされています。（20時間の連続充電〈常温時〉の場合）

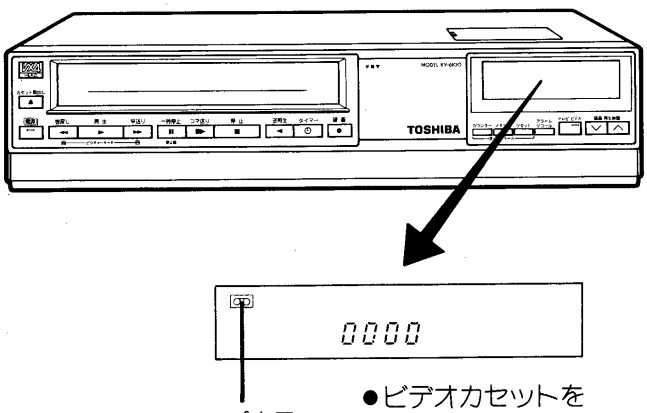
ビデオカセットの入れかた、取出しかた

入れかた(テープを入れると自動的に電源が入ります)

1. ビデオカセットのテープが見える面を上にし、カセット挿入口に入れます。



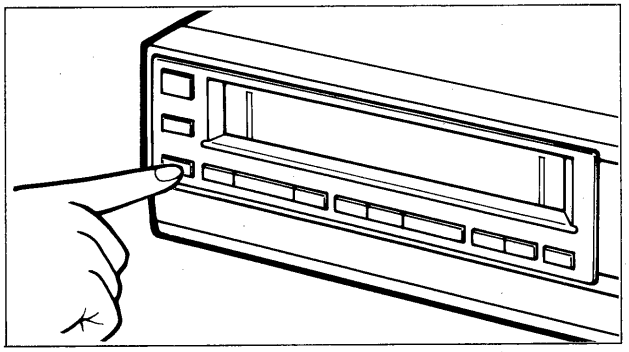
テープ表示



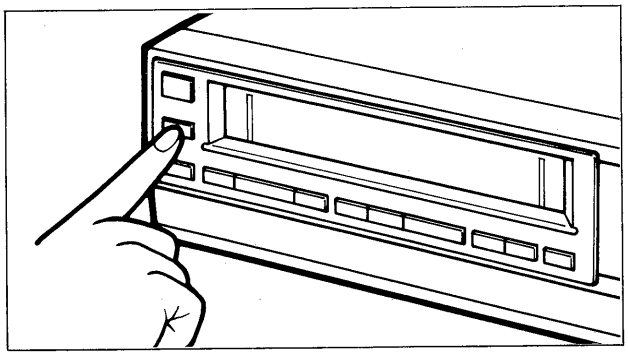
●ビデオカセットを入れると表示されます。

取出しかた

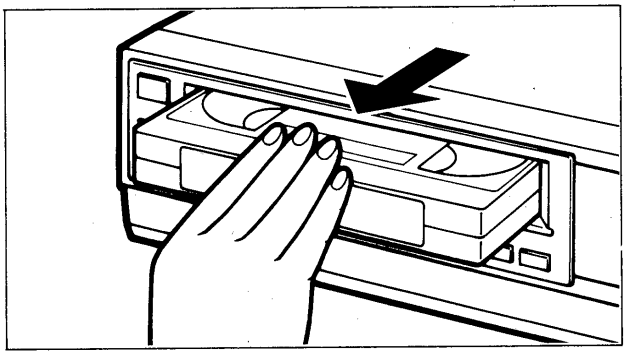
1. 電源を入れます。



2. カセット取出しボタンを押すと、カセット挿入口からビデオカセットが出てきます。(テープ表示が消えます。)

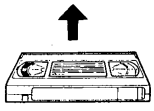


3. ビデオカセットを取出します。

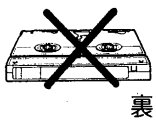


ビデオカセットについて

そう入方向



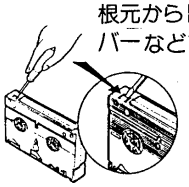
表



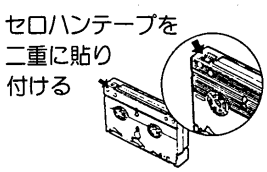
裏

●ビデオカセットは裏返しにしてご使用できません。
●カセット挿入口の奥まで手を入れないでください。

大切な録画テープを誤って消さないために



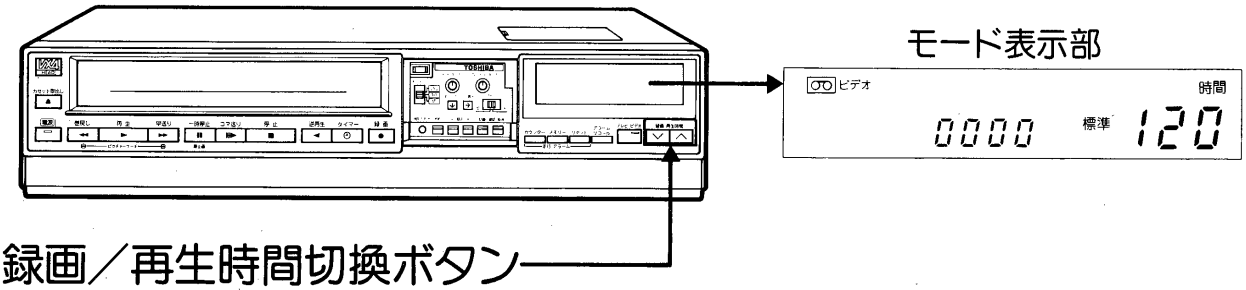
①"つめ"を折り取っておくと録画しようとしても録画ボタンが動作しなくなり、再生しかできません。



②再び録画したいときは、"つめ"を折った穴にセロハンテープを貼り付けてご使用ください。

時間モードの選びかた

- タイムラプス録画／再生を行なう前に、次の操作を確認してください。
- 本機はT-120のカセットテープを基準に設計されていますので、T-120のカセットテープを使用することをおすすめします。



下の表を参考に、ご使用の目的に合わせて、各時間を選んでください。

- 録画モード

	録画モード表示	録画可能時間（T-120テープ使用）	録画間隔	音声記録	テープ走行
VHSモード	2（標準）	2時間	1／30秒	可能	連続走行
	6（3倍）	6時間	1／30秒	可能	連続走行
タイムラプスモード	12	12時間	0.2秒	記録不可能	間欠走行
	24	24時間	0.4秒	記録不可能	間欠走行
	48	48時間	0.8秒	記録不可能	間欠走行
	72	72時間	1.2秒	記録不可能	間欠走行
	120	120時間	2.0秒	記録不可能	間欠走行
	216	216時間	1.2秒	記録不可能	間欠走行
	360	360時間	2.0秒	記録不可能	間欠走行

- 再生スピード

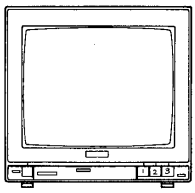
再生テープ	再生スピード表示	再生可能時間（T-120テープ使用）	テープ走行	音声再生
2時間（標準）12、24、48 72、120時間で録画	2（標準）	2時間	連続走行	可能
	12	12時間	0.2秒間欠再生	再生不可能
	24	24時間	0.4秒間欠再生	再生不可能
	48	48時間	0.8秒間欠再生	再生不可能
	72	72時間	1.2秒間欠再生	再生不可能
	120	120時間	2.0秒間欠再生	再生不可能
6時間（3倍）216、360時間で録画	6（3倍）	6時間	連続走行	可能
	36	36時間	0.2秒間欠再生	再生不可能
	72	72時間	0.4秒間欠再生	再生不可能
	144	144時間	0.8秒間欠再生	再生不可能
	216	216時間	1.2秒間欠再生	再生不可能
	360	360時間	2.0秒間欠再生	再生不可能

- 12、24、48、72、120、216、360の各時間はタイムラプスモードです。映像をコマ抜き録画して、長時間の録画ができます。
- 2時間モードは一般のVHS規格の標準、6時間モードは3倍と各々互換性があります。
- タイムラプスモードで録画したテープは、VHSモードの2時間モードまたは6時間モードでクイックモーションの再生ができます。
- VHSモードで録画したテープは、タイムラプスモードにより、スローモーションの再生ができます。
- 2時間、12～120時間モードで録画（白黒モード）した再生画像の水平解像度は300本以上になります。
  ただし、6時間、216時間、360時間モードの録画は除きますのでご注意ください。

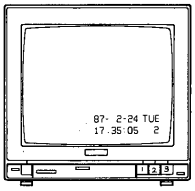
録画のしかた

1. 本機と接続機器の電源を入れます。

2. テレビにビデオカメラの映像が正しく映るように調整します。



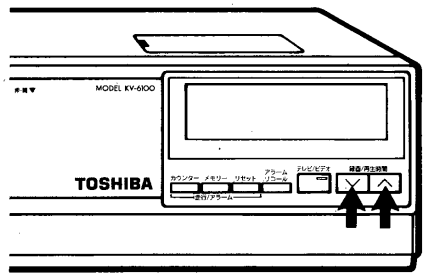
3. テレビの日付・時刻の表示が正しく表示されているか確認します。



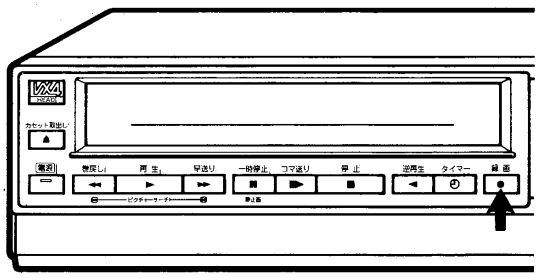
4. オートリピート録画、録画モードロック／停電復帰録画などの録画機能を選びます。

5. 本機にカセットテープを入れます。

6. 録画する時間モードを選びます。



7. 録画ボタンを押します。



録画ボタンは、誤動作を避けるため、軽いタッチでは操作できないようになっています。確実に押して必ず“録画”ランプが点灯していることを確認してください。

——メモ

- 録画中に一時停止／静止画ボタンを押すと、本機は一時停止状態になります。解除するときは再度一時停止／静止画ボタンを押します。一時停止状態が10分以上続きますと、本機は停止状態になります。
- 録画中に一時停止／静止画ボタンを押した後、１コマ録画を行なうときは、３分以上１コマ録画が行なわれないと停止状態になりますのでご注意ください。
- オートリピート録画、アラーム録画などは録画中から、それらの機能が働きます。
- 録画モードロック／停電復帰録画スイッチを「入」にして録画した場合、万一、停電が発生しても約72時間以内であれば、停電復帰後同じ時間モードで録画を継続することができます。
- オートリピート録画の場合は次の点にご注意ください。
  - 自動巻戻し中にはタイマー録画またはアラーム録画はできません。
  - テープ終端になってもブザーは鳴りません。
  - 自動巻戻し中に停止ボタンを押した場合、オートリピート機能は働きません。再度、録画状態にしてください。
- オートリピート録画、タイマー録画を行なう場合には日常点検を忘れないようにしてください。

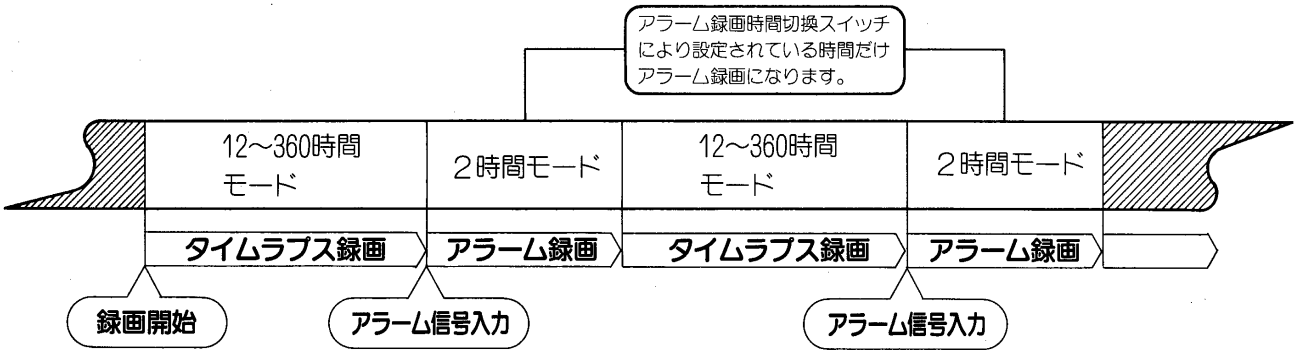
●いろいろな録画のしかた

本機は、監視・観察などの幅広い目的、用途にご使用いただけるように録画の安全機能と多機能録画方式を採用しています。これらの使いかたと操作方法をよくお読みのうえ、ご使用ください。

	選択のしかた	操作のしかた	はたらき
録画モードロック／停電復帰録画	選択した時間モードで録画を継続したい場合。	時間モードを選んで録画ボタンを押します。次に録画モードロックスイッチを「入」にします。	●時間モードはもちろん、電源スイッチや他の操作ボタンを押して録画状態を変えることはできません。 ●録画状態を解除したい場合、録画モードロックスイッチを「切」にし、停止ボタンを押します。
	また、停電に備えて、録画を自動継続したい場合。	録画モードロックスイッチを「入」にすると停電復帰録画も「入」になります。	●停電復帰が72時間以内の場合には、日付、時刻と録画中の時間モードはデータメモリーされて、自動的に継続ができます。 ●停電前の動作モードが録画モード以外でも停電復帰で録画モードになりますので、ご注意ください。
オートリピート録画	同じカセットテープを反復録画して使いたい場合。	オートリピート録画スイッチを「入」にします。	●テープ終端を検知すると自動巻戻しされて、始端から再度、録画になります。
ブザーテープ終端	録画を開始してから、次のカセットテープの交換忘れを防止したい場合。	ブザースイッチを「入」にします。	●テープ終端を検知すると、電子音“ピッピッピッピッー”の警告音がなります。同時に、カウンター表示も点滅します。 ●操作ボタンのどれかを押すと、ブザーおよびカウンターの点滅は止まります。
タイマー録画	曜日と時刻を指定してその時刻の間だけ録画したい場合。	タイマー録画の曜日と開始時刻、終了時刻を設定します。次にタイマーボタンを押します。	●毎日、月曜から金曜、土曜、日曜の曜日選択の可能な４プログラムのタイマー録画ができます。
１コマ録画	１コマずつ録画したい場合。	録画中に一時停止ボタンを押しコマ送りボタンを押します。押すたびに、１コマずつ録画されます。 3分以上一時停止が続くと停止状態になります。	●標準モードでは21万６千コマ3倍モードでは64万８千コマの録画ができます。

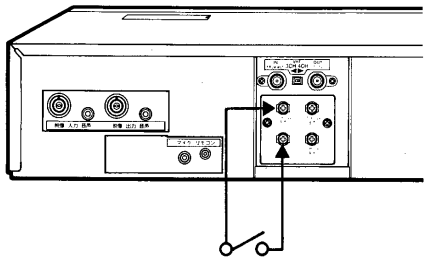
●アラーム録画

ドアースイッチやインターホーンなどをアラーム入力端子に接続すれば、アラーム録画を行なうことができます。アラーム入力信号を受けると、タイムラプスモードから2時間モードに自動的に切り換わり、状況を克明に録画します。(6時間モードで録画中でも、アラーム入力が入ると2時間モードになります。)



接続のしかた

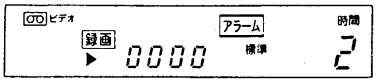
アラームスイッチを図のように接続します。



アラーム信号入力：短絡
アラームリセット入力：+2V～+15V
(最少電流+2mA)
アラーム出力：+5V. 1kΩ

操作のしかた

アラーム録画時間切換スイッチをアラーム信号入力時に何分録画するか切り換えます。



はたらき

3分にすると3分間2時間モードで録画され終ると前の時間モードに戻ります。

6分にすると6分間2時間モードで録画され終ると前の時間モードに戻ります。

エンドにするとテープ終端まで録画され停止します。

アラーム信号が入力されるとモード表示部のアラーム表示が点灯します。
アラーム表示はアラーム録画が終ると消えます。

●アラーム録画中にアラーム出力とアラームリセット入力を短絡すると、強制的にアラーム録画を解除することができます。

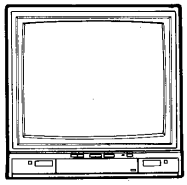
●アラームリセット入力に、+2V～+15V を常時入力しておくと、アラーム入力を禁止することができます。

再生のしかた

再生をする前に、録画モードロック／停電復帰録画スイッチを「切」にしてから行なってください。

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。

2. モニターテレビが一般家庭用テレビの場合、ビデオ専用チャンネル(1CHまたは2CH)に切り換えてください。



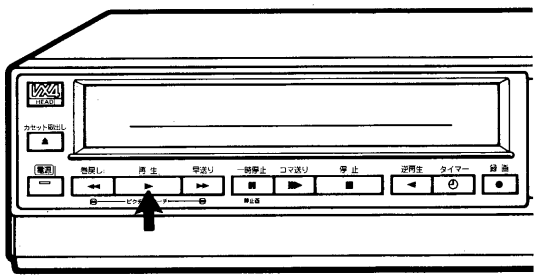
←チャンネル1または2

一般テレビ

3. 本機に録画済みカセットテープを入れます。

4. 再生時間モードを選びます。

5. 再生ボタンを押します。



——メモ

- 停電復帰録画スイッチを“入”の状態で電源コンセントを一度抜いて、再度入れたり、あるいは停電が発生して復帰した場合、本機は自動的に録画状態になりますのでご注意ください。
- 再生中に一時停止／静止画ボタンを押すと、本機は一時停止状態になり、テレビの画面に静止画が出ます。解除するときは再度一時停止／静止画ボタンを押します。一時停止状態が約5分以上続きますと、本機は再生状態になります。
- 各時間モードで録画したテープを再生する場合、時間モードによっては再生できないものがありますのでご注意ください。

録画した時間モード	再生できる時間モード
2時間、12~120時間	2時間、12、24、48、72、120時間
6時間、216時間、360時間	6時間、36、72、144、216、360時間

- 逆再生は約1分で解除され、通常再生に戻ります。
- 逆再生中には、時間モードは切り換えられません。(2時間または6時間モードの逆再生のみ)
- 逆再生中には静止画再生、コマ送り再生はできません。
- タイムラプスモード(12~360時間)で録画したテープを再生する場合は次の点にご注意ください。
  - 画像は多少上下にゆれますが、異常ではありません。
  - モニターテレビの画像の上部が少し歪む場合がありますが、故障ではありません。

●いろいろな再生のしかた

本機は、監視・観察などの幅広い目的、用途に合わせて、録画内容を迅速に検索できるようになっています。これらの使いかたと操作方法を、よくお読みの上ご使用ください。

次の操作は再生中に行ないます。

選択のしかた	操作のしかた	はたらき
録画したテープをタイムラプスモードで克明に再生したい場合	いずれかの時間モード(12~360時間)にします。	画像のブレやノイズのないクリーンスローで再生ができます。
タイムラプスモードで録画したテープを素早く再生して録画内容を知りたい場合	時間モードを2時間または6時間モードにします。 あるいは、早送りボタンを押します。3倍モードで録画したテープの場合は、早送りボタンを押しつづけます。	クイックモーションで再生できます。 早送り再生は、標準モードでは5倍のスピード、3倍モードでは5倍、ボタンを押しつづけると15倍のスピードで再生できます。
タイムラプスモードで録画したテープを素早く逆再生したい場合	逆再生ボタンまたは巻戻しボタンを押します。 3倍モードで録画したテープの場合は、巻戻しボタンを押しつづけます。	クイックモーションで素早く逆再生できます。 巻戻し再生は、標準モードでは5倍のスピード、3倍モードでは5倍、ボタンを押しつづけると15倍のスピードで再生できます。
再生中のある場面を詳しく分析する場合	一時停止／静止画ボタンを押しコマ送りボタンを押します。	1コマ送りの再生ができます。
ある場面を写真撮影したい場合	一時停止／静止画ボタンを押します。	画像ブレやノイズのないクリーンスチルの画像が得られます。
録画済みテープに音声を入れたい場合	マイク端子にマイクロホンを差し込むか、音声入力端子に音声信号を接続します。 アフレコしたいところで一時停止／静止画ボタンを押し、アフレコボタンを押し、一時停止／静止画ボタンを押し、解除します。 最初からアフレコしたいときは、停止状態でアフレコボタンを押します。	標準モードで録画されたテープでは2時間モードで録音されます。 3倍モードで録画されたテープでは6時間モードで録音されます。 アフレコ一時停止状態が約5分以上続くと、本機は停止状態になります。

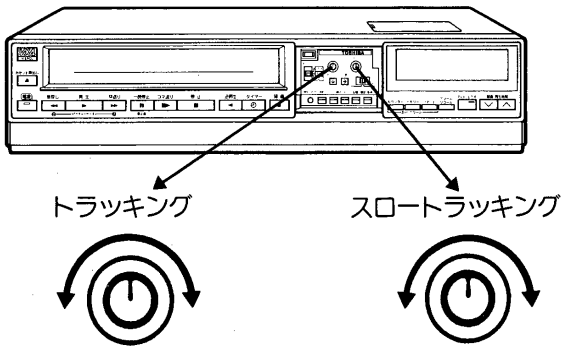
●よりよい再生のしかた

本機の再生には、よりよい再生をするために次の使いかたと操作方法をよくお読みの上、ご使用ください。

トラッキングの使いかた

再生画像にノイズがあらわれる場合

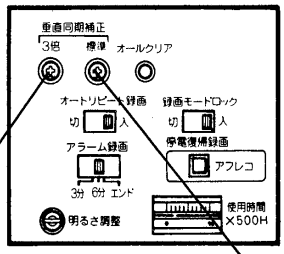
12～360時間モードの再生時には、スロートラッキングツマミをまわして調整します。
2・6時間モードの再生時には、トラッキングツマミをまわして調整します。



垂直同期の使いかた

12～360時間モード、静止画の再生で、画像が上下にゆれる場合

本機の上面の垂直同期補正ボリュームを小さなドライバーで調整します。(ドライバーは強く押しつけないようにご注意ください)



- 6、216、360時間モードの録画の場合
- 2、12、24、48、72、120時間モードの録画の場合

- 自動垂直同期調整の機能が付いたテレビで静止画再生やスロー再生をしたとき、画像が上下(垂直方向)にゆれることがあります。このときは、テレビの垂直同期を手動に切り換えて調整してください。

いろいろな使いかた

本機は、アラーム録画された録画内容を素早く探しだせるようになっています。
これらの使いかたと操作方法を、よくお読みの上ご使用ください。

選択のしかた	操作のしかた	はたらき
録画のすぐあとで再生して見たいときや、ある部分をくり返して再生する場合	見たいところで、カウンターリセットボタンを押し、カウンターを「0000」にします。 カウンターメモリーボタンを押しモード表示部の「カウンターメモリー」ランプを点灯させます。この状態でテープの早送りや巻戻しをします。	テープカウンターが「0000」付近になったところでテープが自動的に止まります。
アラーム録画されたところを素早く見たい場合	カウンターメモリーボタンを押しモード表示部の「アラームメモリー」ランプを点灯させます。この状態でテープを巻戻すか早送りをします。	アラーム信号が記録されているところにくると、自動的に静止画再生になります。 一時停止／静止画ボタンを押すと再生が始まります。
アラーム録画された曜日や時間を素早くしりたい場合	停止状態のときにアラームリコールボタンを押します。	テレビ画面にアラーム録画された最も新しいアラーム情報(年、月、日、曜日、時間）を最初に表示し、3秒間隔で新しいアラーム情報から順にテレビ画面にAL1～AL9の表示で情報を自動的に表示します。AL1が一番新しい情報です。AL9の表示が終わると解除されます。
アラーム録画の回数を調べたい場合	カウンターボタンを押しモード表示部をアラームカウンターにします。	アラーム録画されている回数が表示されます。ここには、アラーム録画の回数が99まで表示されます。

日常点検のお願い

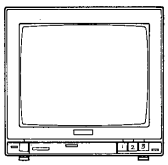
本機は、長期間の使用に耐えるように設計されておりますが、日常点検をして、異常のないように使用されることをおすすめします。

〈ご注意〉
特にオートリピート録画の場合は、日常点検を怠らずに使用してください。

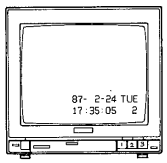
点検の手順

1. 本機の録画モードロック／停電復帰録画スイッチが「切」になっていることを確かめた後、本機、ビデオカメラ、モニターテレビなど監視システムの接続機器の電源スイッチを“入”にします。

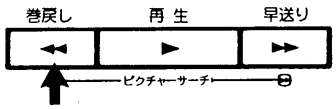
2. モニターテレビに正しい映像が出ていますか。



3. モニターテレビの日付、時刻の表示が合っていますか。



4. 前日に録画したカセットテープを数カウント巻戻しします。



5. 再生ボタンを押します。

6. 再生画像が正常ですか。
（特に12～360時間モードのタイムラプスモード再生にします）

7. 録画した日付、時刻に異常はないですか。

● 録画 ランプが点滅している場合

録画中にテープ終端で、モード表示部の“録画”ランプが点滅したときは、ビデオヘッドの目づまりを検出したためです。このようなときは、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。ビデオヘッドのクリーニングは東芝クリーニングカセットT-25CLをご使用ください。
クリーニングカセットを使用しても直らないときは、お求めの販売店にご相談ください。

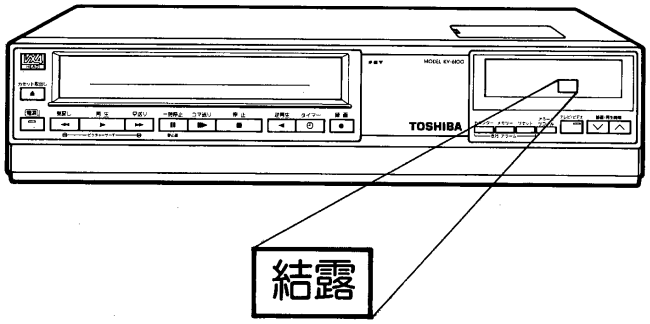
点検後の処置

万一、異常がある時には、電源スイッチを切って、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご相談ください。

使用上のご注意

結露について

本機は、露付きがおこると、カセットテープ、ビデオヘッドなどの安全を保護するために、動作しないよう安全機能が働きます。



露付きが起った場合	モード表示部の“結露”表示が点滅し、ブザーが連続して鳴ります。(ブザースイッチが入のとき) ※ブザーを止めるときは、ブザースイッチを“切”にしてください。

↓

ビデオカセットを取出します。

↓

電源スイッチを“入”の状態で“結露”表示の点滅が消えるまでお待ちください。
周囲の状況によって異なりますが数時間要します。

■“結露”とは
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この状態を“結露”といいます。

■“結露”状態になると、
そのままビデオを使うとテープがビデオ内部の部品に貼りついて大切なテープやビデオヘッドを傷めてしまいます。

■“結露”はこんなときおきます。
- ビデオを寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
- 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなどの直接冷風のあたるところ。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

■結露防止ヒーターは、差し込みプラグをコンセントに差し込んでもすぐには働きません。
結露防止ヒーターは、差し込みプラグをコンセントに差し込んでも、急激に水滴を蒸発させることができません。寒いところから暖かい部屋に移動したときなど、ビデオが“結露”になりやすい状態のときは、差し込みプラグをコンセントに差し込んで、1～2時間待ってからご使用ください。

安全のために

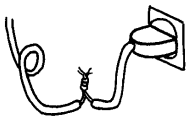
●内部には絶対に触れないでください。
内部に触れたり、改造されたりしますと危険なうえ、故障の原因ともなりますので、専門技術者におまかせください。

●内部に物が入ると感電や事故のもとになります。
内部に金属類（針、ヘアピン、硬貨など）や燃えやすいもの（紙、マッチなど）を絶対に入れないでください。特にお子様にご注意ください。

●水は禁物です。
水の入った花びんやコップなどは上に置かないでください。あやまって内部に水が入ると、故障や事故の原因になります。

●長期間ご使用にならないときには電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いておいてください。
抜くときは、電源コードを絶対に引っ張らないでください。断線する原因になります。

●電源コードに無理な力を加えないでください。
電源コードの上に重い物をのせたり、折り曲げたり、ねじったりすると危険です。電源コードをつぎ足さないでください。ろう電、感電の原因になります。



●万一、異常があるときは、
直ちに電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。

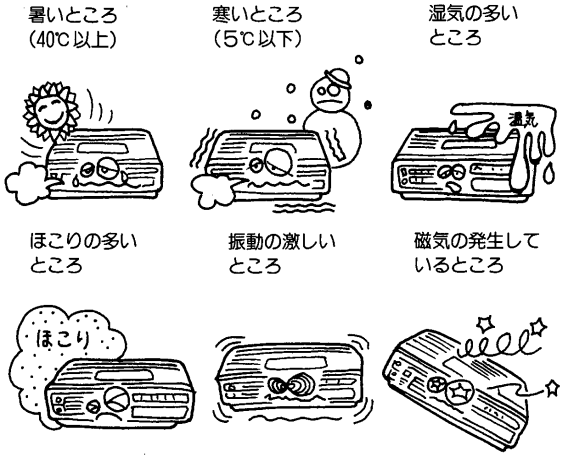
お手入れにご注意ください。

●キャビネットは、乾いたやわらかい布でおふきください。化学ぞうきんやクリーナは使わないでください。

●ベンジン・シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、テープを貼ったりすると、キャビネットやパネルの表面がいたみますのでお避けください。

置き場所にご注意ください。

●本機は精密な構造のため次のような場所でのご使用、保管はお避けください。特にビデオヘッドは湿気やほこりのために摩耗を早め、鮮明な映像を損なうことがあります。



●通風孔はふさがないでください。
内部の温度上昇を防ぐため、キャビネットの上下に通風孔があけてあります。本機にテーブルクロスをかけたままで、また、本機をふとんやジュータンの上に置いて使用しないでください。

●通風のため、壁面から本機の後は10cm以上、横は5cm以上はなしてください。

●本機の上に重いものをのせないでください。

●水平位置で安定した場所でお使いください。

●本機をテレビの付近に置く場合は、
テレビから"ブー"というハム音が出ることがありますのでテレビから離してください。

取扱いにご注意ください。

●持ち運び、保管の際は、
強いショックを与えないよう、ていねいに扱ってください。移動させる場合は、電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。また、必ずビデオカセットを取出しておいてください。

●本機は日本国内用に設計されています。
放送規格、電源電圧の異なる外国では使用できません。

ちょっとお調べください

故障かな？……とお思いのときはアフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

設置上	
電源が入らない。	●電源プラグがACコンセントに確実に差し込まれていますか？
E－E系の画像が出ない。	●本機とテレビ、ビデオカメラなどの接続は正しいですか？ ●接続コードの接触不良はありませんか？ ●モニターテレビとして家庭用テレビを使用している場合 ・ビデオ専用チャンネルになっていますか？ ・本機のRFチャンネル切換スイッチが正しいですか？（9ページ参照）
E－E系の画像が不鮮明である。	●ビデオカメラのピントを正しく調整していますか？
機能上／動作上	
操作ボタンを押しても動作しない。	●ビデオカセットが入っていますか？（15ページ参照） ●録画モードロックスイッチが「切」になっていますか？ ●“結露”ランプが点灯していませんか？（25ページ参照）
“結露”ランプが点灯している。	●本機の安全保護機能が働いているため動作しません。点灯が消えるまでお待ちください。（25ページ参照）
停電になっても日付、時刻表示のデータがメモリーできない。（ただし約7日以内）	●本機の電源プラグが長時間電源コンセントから抜けていませんでしたか？ 本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んで20時間以上の連続充電をしてください。
録画	
再生や早送り、巻戻しはできるが録画ができない。 録画が停止している。	●ビデオカセットのツメが折れていませんか？ ●ビデオカセットテープが終端になっていませんか？ ●録画中に一時停止／静止画ボタンを押してから10分以上経過していませんか？ ●日常点検をしてご使用いただいていますか？ この現象が再々発生する場合何らかの故障が考えられます。販売店にご相談ください。
停電が復帰したが、録画の自動継続ができない。	●停電復帰録画スイッチが「切」になっていませんか？ ●停電時間が約7日以上経過していませんか？
オートリピート録画ができない。	●オートリピート録画スイッチが「切」になっていませんか？ ●自動巻戻し中に停止ボタンを押しませんでしたか？
ブザーが鳴らない	●ブザースイッチが「切」になっていませんか？
タイマー録画ができない。	●現在時刻が正しく合っていますか？ ●タイマー予約が正しく合っていますか？ ●タイマーボタンを押しましたか？ ●タイマー予約の設定後 ・停電がありませんでしたか？ ・電源スイッチを入れませんでしたか？ ・電源プラグを電源コンセントから抜きませんでしたか？
アラーム録画ができない。	●アラームセンサーとアラーム入力が正しく接続されていますか？ ●アラームリセット入力に＋2V～＋15Vの電圧が入力されていませんか？
再生	
再生画像でノイズが出たり、出なかったりする。 再生画像がきたない。	●トラッキング調整ツマミで調整してください。 ●ビデオヘッドの汚れ、目づまり、寿命が考えられます。販売店にご相談ください。
再生画像が雪の降るようにチラチラする。	●ビデオヘッドが汚れていませんか？ 販売店にご相談ください。
タイムラプスモードの再生画像あるいは静止画が上下にゆれる。	●垂直同期補正の調整をしてください。（22ページ参照）
複数のビデオカメラを使用している場合、カメラ切換時の再生画に2箇所の場面があらわれる。	●外部同期あるいはゲンロック同期のビデオカメラを使用していますか？ 販売店にご相談ください。
再生画像に日付、時刻の表示が出ない。	●録画中にオンスクリーン表示切換スイッチが「切」になっていませんでしたか？
本機の電源プラグを電源コンセントに差し込むと録画が始まり再生できない。	●停電復帰録画スイッチが「入」になっていませんか？

保証と修理サービスについて

●保証書について

保証書は販売店からお渡しいたしますから、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

●保証期間－1ヵ年

正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき販売店で「無料修理」いたします。
ただし、ビデオヘッドは消耗部品ですから業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

この取扱説明書の「ちょっとお調べください」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

●〈ご連絡していただきたい内容〉

●ご住所　●ご氏名　●電話番号
●製品名　●形名
●ご購入日(保証書をご覧ください)
●故障内容
●異常の状況(できるだけ詳しく)

●定期保守について

特に監視用などにご使用の場合は定期保守の実施をおすすめします。くわしくは、ご購入の販売店にご相談ください。

●保証期間経過後、修理を依頼されるとき

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

●保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点はお求めの販売店にお問い合わせください。

●その他ご贈答・ご転居等の場合などご不明な点は販売店にご相談ください。

●補修用性能部品について

このビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後８年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

電源	AC100V±10%　50/60Hz
電源コンセント	最大400Wまで（電源スイッチ連動）
消費電力	27W（電源「切」時8W）
外形寸法	幅430×高さ95×奥行375mm
重量	7.7kg
アンテナ入出力端子	VHF：75Ω F型コネクター
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
録画方式	回転2ヘッドアジマス記録VHS規格（標準モード、3倍モード）
使用カセット	VHS方式　1/2インチカセットテープ
テープ速度	標準モード：33.4mm/秒、3倍モード：11.1mm/秒
録画時間	2/6/12/24/48/72/120/216/360時間（T-120使用時）
再生時間	標準モード：2/12/24/48/72/120時間（T-120使用時） 3倍モード：6/36/72/144/216/360時間（T-120使用時）
早送り・巻戻し時間	約6分以内（T-120使用時）
映像入力	1Vp-p、75Ω不平衡、同期負、BNC
映像出力	1Vp-p、75Ω不平衡、同期負、BNC
水平解像度	300本以上（白黒モード/標準モード） 240本以上（カラーモード/標準モード）
映像S／N	45dB以上（標準モード）
音声入力	ライン入力：−10dBs(245mVrms)、47kΩ、ピンジャック マイク入力：−70dBs、5kΩ以下、ミニジャック
音声出力	−7dBs(346mVrms)、10kΩ以下、ピンジャック）
音声トラック数	1トラック
音声周波数特性	100Hz〜10kHz（標準モード）
音声S／N	43dB以上（標準モード）
リモコン	付属のワイヤードリモコン使用
許容動作温度	5℃〜40℃
許容動作湿度	80%以下
許容保存温度	−20℃〜60℃
RF出力	1チャンネルまたは2チャンネル
タイムデートジェネレーター	
表示	年、月、日、曜日、時、分、秒、録画モード、アラーム回数、アラーム表示、タイマー予約表示
表示位置	任意
文字サイズ	14×10H
停電バックアップ	約7日間
表示管部	
表示	テープ表示、ビデオ表示、アフレコ表示、カウンターメモリー表示、録画表示、アラームメモリー表示、アラーム表示、停電表示、時間表示、再生表示、走行表示、カウンター表示、アラームカウンター表示、結露表示、タイマー表示
アラーム	
アラーム入力	短絡
アラームリセット入力	+2〜+15V（最小電流2mA）
アラーム出力	+5V、出力インピーダンス1kΩ
アラーム録画時間	3分、6分、テープエンド
付属品	映像ケーブル（BNC−BNC）　1本 ワイヤードリモコン　1個

●意匠、仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 東芝

ビデオ事業部・ビデオ営業部

〒366 埼玉県深谷市幡羅町1-9-2　TEL・(0485)74-2449

＊住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。